

# 八千代オikos かわら版

第9号

平成20年9月1日発行  
NPO 法人八千代オikos  
<http://www.yachiyo-oikos.jp/>

…今年の夏も、楽しく、川について色々勉強しました…

## 《08年・川の学校開校》

今年の川の学校は、2回にわたり開催しました。

《1回目：7月26日(土)、27日(日)》

参加者は、環境保全課のご協力で小学校にチラシ配布を行い、そのせいか定員を大幅に上回るお申し込みを頂きました。

26日は、最初に緊張をほぐす為の簡単なゲームをした後、班毎に分かれスタートしました。川の様子を上からと川の中から観察し、次に、仕掛けをどこにするか話し合いました。お父さんお母さん方にもチームを編成して貰い、子ども達とは違う場所に仕掛けをしました。

27日は、仕掛けの引き上げと川に入っの生き物探しで歓声と元気な声の花輪川に響き渡りました。各班から皆にお褒めしたい1匹を持ち寄りお披露目した後、新島先生の解説をお聞きしました。

子ども達は、ドジョウ、オニヤンマのヤゴ、アメリカザリガニ、トウヨシノボリ、マツモムシ。お父さんお母さんチームは、大きなトウキョウダルマガエルでした。

生き物をしっかりゲットした子ども達の顔は自信に溢れていました。午後は、花輪川に生きものが棲めるための作戦会議を行い、話し合った結果は、皆の前で発表し、熱心な質疑応答が繰り広げられ、新島先生からアドバイスを頂きました。

2日間のふりかえりシートからは、川での体験はワクワク・ドキドキしたこと、花輪川を知ったことなど生き生きとした言葉が溢れていました。また、お父さんお母さんチームの存在が子ども達に良い刺激となったようです。



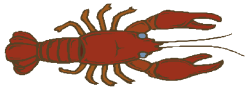
《2回目：8月2日、3日》

子どもネット八千代さんとの川の学校で、準備段階から話し合いを重ね、お互いの見解や希望を加えプログラムを作り上げました。

初日は、上流、中流から下流の落ち口で、花輪川は桑納川へ流れ、新川、印旛沼へと流れていくことを実感しました。川底が見えてきれいに見えてもパックテストや生き物の種類が少ないなどの体験を通して汚れているのかな？と気付いた子どももいました。

2日目に仕掛けを引き上げてみるとメダカが入っていたことは、汚れている川のレッテルを貼られる中に希望が見えるニュースでした。また、ドジョウがかなり捕まり、花輪川はドジョウの川？と思えるほどでした。ドジョウを網で捕まえられた喜びの体験には満足の笑みがありました。川の中をじっくり観察し生き物が棲めるための話し合いは、今後、子ども達が花輪川に関心を持ち続けてくれることへの期待があります。

花輪川浄化、保全活動への希望を見つけることが出来た川の学校でした。(桑波田)



## ～～川の学校に参加して～～



川の学校に参加された子ども達とお母さん方から素晴らしい感想が寄せられました

### ♣ みんなで変える川の水

6年 南雲 祥彦

ぼくたちは花輪川を上流、下流、中流の順番で見ました。どこでも川底が見えていて「きれいだなー」と思いました。でも COD で調べて見ると以外に汚くてその上、見ても生き物がいなかった。いるのか心配になりながらもしかけをしました。しかし次の日しかけを取ってみるとみんなもザリガニ等大漁で、なんとその中にはきれいな川にしかすまないメダカがいて、この川にも生き物がすめて安心しました。

ぼくはこれからもメダカがたくさんすめるようにしていきたいです。

### ♣ 川のことをあらためて大切だと思った

6年 居倉 未来

2日間の学習はおもしろさ&自然のありがたさを学んだ日だった。川は近くでは無いといえるほど無いと思うから川で遊ぶのは貴重な体験だったと思う。

川で遊び始めてからこの川はすきとおっているし水草も適度にあるし、かくれがもありそうだから生き物にはもってこいの場所だと思う。川で遊んだときはすごく楽しかった。

しかし、私たちの近くにあるのは、あってもドブ川。何ヶ月かかっても出来ればきれいな川にして、みんなと遊びたいです。

### ♥ 愛情で伝える自然を大切に思う心

NPO 法人子どもネット八千代 林田 文枝

今年も「川の学校」で子ども達と貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

子ども達はとても元気でワクワク、ドキドキ一杯で川にやって来ます。それを迎えてくださるオイコスの皆さんは、綿密なスケジュール、完璧な準備、そして何より子どもと一緒に川に入り生き物を探している様子に、子ども達への深い愛情を感じます。それと同時に、自然を大切にする心を未来を担う子ども達に伝えたいという使命感のようなものも強く伝わってきました。

私は「楽しかった！」と笑顔一杯の子ども達にいつか必ず思いが伝わると確信したのです。

### ♥ 川の学校に参加して

NPO 法人子どもネット八千代 浜田 律子

真夏日が続く中、オイコスさんには大変お世話になりました。子ども達は仕掛けや網で生きものが取れると嬉しくなり、目を輝かせながら何度も川の中に入っていました。中でもメダカを初見できたことは貴重な経験でした。

水質を調べ、川にすむ生き物を取り、川をきれいにするためにはどうしたらいいのかを考えることができました。

## ♠ 「石神谷津」のホタル調査 ♠

10年来、オイコス主催で市民の皆さんに楽しんでもらってきた石神谷津での「ホタルを探す会」が、都市再生機構による大規模都市開発が進み、今年も中止になってしまった。そこで、市内でも貴重な自然を残す同地の行く末を案じオイコス有志によるホタルの合同調査を8月9日(土)に行った。

メンバーの家族に、東邦大学の女子学生が卒論の研究にと特別参加し賑やかな夜となった。例年のコースとは反対側より探索をしてみると、なんと上流域の工事の心配をよそに、この日のホタルは何時もより多く70～80匹もの数が確認され全員大喜びでした。

あと数年で土地造成が終了し、宅地化が始まるとこの素晴らしい自然が姿を消すと思うと残念でたまらない。この後、更に数ヶ所の調査地を廻り、僅か数匹しかいない所や今年も密かに息づくホタルを確認し、八千代の残された自然に一同安堵して終了しました。(川瀬)



## 「エコマインド卒業生」オイコス来訪



千葉県環境財団が主催するエコマインド養成講座の05年度の卒業生7名が、6月16日、勉強会としてオイコスの活動を見学に来られました。

八千代緑が丘駅～高本～桑納川～花輪川のゴミ収集を兼ねてオイコスの活動場所である花輪川の土橋周辺を見学しました。

その後、緑が丘公民館でオイコスのメンバーが活動紹介を行い、更に、夕刻より場所を移し、お互いの活動紹介等、アルコールも交えた有意義な意見交換会も行いました。(小原)

## ◆今年も米作りに挑戦◆

昨年の豊作に気を良くして、今年も米作りに挑みました。今年は、代かき前に畦の草刈を行なう予定が天候不順のため出来ず、畦作りも不十分のまま、5月3日に男ばかり11名で田植を行ないました。並んで田植をする姿は今では珍しいのか、通行人が写真に収めて行きました。

田植機であれば30分足らずのところを4時間近くも掛かりましたが無駄口ばかりの田植も結構楽しいものです。



懸案だった畦の草刈を梅雨入り前の6月8日に完了、しかしそれも束の間、今年は雑草の繁茂が激しい上に管理が不十分だったせいか、急遽、8月8日に、畦の雑草刈りを行いました。しかし田の中の雑草は排除不能、稲にどのような影響があるか不安は残りますが今年も収穫が楽しみです。(小原)

## ～花輪川花壇は、衣替え～



6月12日、「花と緑の基金」に申し込んでいたサルビア、小菊を運動公園野球場で受取り、花輪川に向った。朝からの霧雨も上がりオイコス会員7名で早速作業に入った。雑草抜き、土起こし、ならしと順次繰り返し手際よく植え込んでいった。サルビアの赤が周囲の緑によく映えている。昨年植えた小菊も群生しており、更に仲間が増え喜んでいるようだ。1時間半ほどで用意した約300個の苗は植え終った。花壇の反対側には大きく成長した紫陽花の大輪が今を盛りと幾種類もの色を付け咲き誇っていた。継続した美化保全活動が見事な

環境を作り出している。他の場所にも順次展開してゆきたいとの気持ちが湧いてきた。(島)

## ～花輪川遊歩道に手作りのベンチを設置～

我々の活動拠点である花輪川の遊歩道に念願のベンチを設置しました。

5月11日、小雨が降る中、準備した材料を運び込み、ベンチ板に枕木を土台にした大小2台のベンチが完成です。その他に小さなベンチとして附近の方から頂いたけやきの切り株を周辺に置きました。散策する人や、夏に実施する「川の学校」の参加者の皆さんが気分良く座れるようにしました。また、我々も作業の際にちょっと一息入れる格好の休み処になります。

6月は紫陽花が満開となり、ここでのコーヒータイムはいやしの<ひととき>にもなりますよ。是非、一度、足を運んでください。(田邊)



## ☆☆ オイコス会員寄稿 ☆☆

オイコスの仲間が趣味や日頃の活動などを通しての自己紹介です。

### 「オイコスの会員でよかった」

棚田 純子



会員の自己紹介となると、気恥ずかしい思いがします。それと言うのも年に一度の忘年会に、にぎやか隊で参加。サポセンまつりのポスターを作り、皆様の温かい組織票(?)で見事入賞・・・と楽しい思いばかり。でもなんと言っても楽しいのはオイコスの皆さんとの出会いです。サポートセンターに勤務していることもあり、会員の皆さんとお顔を合わす機会も多く、魅力溢れる皆さんは、オイコスの語源とも言える「家」の温もりを感じさせてくれます。

主な私の活動は、NPO 法人子どもネット八千代で子育て支援を担当し、1～2才の親子と毎月2回、一緒に遊んでいます。八千代市の子育て支援は進んでいて、サークルや教室が沢山あり、その中で私達ならではのというのが、鑑賞体験をプログラムに取り入れていることです。小さな時だからこそデジタル音ではない、質のよい生の演奏や舞台を体験して欲しいのです。そんな思いで6年目を迎え、現在は、「ばあば」と呼ぶ不埒な孫と手あそびしたり、歌ったり我が家でも遊んでいます。こんな会員ですが、どうぞよろしく願いいたします。

### 「オイコスとの出会いと思い」

瀬川 宣夫

2年ほど前に、腰椎の手術をし、医者のお勧めでジョギングを始めました。気の向くままに自宅近くを歩き回っていたのですがいつしか花輪川沿いに自然に足が向くようになりました。なぜか川の流れを見ながらのジョギングは身も心もリラックス出来たからです。

何ヶ月か過ぎた頃、その場所で作業をしている人を見かけました。農家の方と思いきやあまり気にも留めなかつたのですが、その後、同じ場所でコンクリートブロックを川に並べている方に出会いました。



話を伺った処「自分達、八千代オイコスがボランティアで川を清掃し、花を植え、木を整え、草を刈り、川の生態も見守っている」と聞かされました。

納得しました。ここで気持ちよくジョギング出来た訳が。それを知らずに私はそこをジョギングしていたのです。私もオイコスに参加しようと思いました。腰痛があるので少し躊躇したのですが。

オイコスの一員になった後は、花輪川作業、エコウォーキング、菜の花ウォーク等の手伝い、又、竹炭焼きの竹切り等楽しく作業をしています。

花輪川作業で気が付いたことは、ごみの中でもスーパーのレジ袋、酒、ジュースの空き缶の多いことです。又、時々上流から白濁した水が流れ込むことも分りました。

近年、蛍ばかりでなくとんぼ類も減少していると聞きます。この近辺ではアキアカネの大群も、ギンヤンマもめったに見ません。環境が悪化しているのでしょうか。なんとか戻したい、戻るようにまだ仲間入りしてから日も浅い私ですがオイコスの一員として頑張りたいと思います。

### 【編集後記】

オイコスの夏の恒例行事のひとつ「ホタルを探す会」が中止になりました。宅地開発により自然がまた消えていきますが、ほのかな美しい光を点滅しながら短い命を燃やすホタルが見られなくなるのは、一層、はかなさ、むなしさを感じます。「音もせで 思ひにもゆる蛍こそなく虫よりもあはれなりけれ (後拾遺集 源重之)」(geta)

発行責任者 川瀬 純一

事務局&問合せ 小原 翔

☎ 047-450-4663

(メール) info@yachiyo-oikos.jp